あ！ながわ
は！なぞの
ようちえん

園だより

令和７年度１２月号

今月の「ののさま」のことば

にんにくじきゅう
忍辱持久

苦しくても、
がまんして続けていこう。

いちにちなさざればいちにちくらわず

一日不作一日不食

お寺と幼稚園の二刀流の私ですが、たまにはお寺のお話をしましょうか。

ご存じのように、仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝わってきました。そのインドで、お釈迦さまは弟子たちに諭されました。「一切の生産活動をしてはいけない。」と。以来、お坊さんは野菜を育てたりせずに、托鉢（たくはつ）をして食べ物を手にしていました。中国に伝わってもそのような生活をしていました。仏教を庇護した皇帝の時代は良かったのですが、皇帝によっては仏教を迫害することもありました。仏教は邪教だ、お坊さんは皆廃業しろ！そんな時代でも、お釈迦さまの大切な教えを守らなければならないと思ったお坊さんは、皇帝の力の及ばない山中に逃げ込みました。托鉢なんかしたら見つかってしまいますから、食べ物は自給自足しなければならなくなりました。「生産活動をしてはならない」というお釈迦様の教えに背くことになるので、生産活動を修行の一つと考えるようにして、「作務」（さむ）がお寺の生活の大切な一つとなり、自給自足しながらお釈迦さまの教えを守ったのでした。

お寺の生活の一部である作務ですから、それには年齢は関係ありません。

年老いたお坊さんが今日も畑を耕していました。それを心配したお弟子さんたちが、「ご無理をなさらないでください。」と何度も声をかけるのですが、老僧は作務をやめることはありませんでした。見かねた弟子たちが相談して、作務の道具を隠してしまえば、さすがの師匠も作務をしないだろうと鍬や鎌を隠してしまいました。さすがの老僧も作務ができなくなりましたが、その代わりに食事に箸をつけなくなってしまったそうです。またまた心配したお弟子さんが「お食事をお召し上がりください。」というと、老僧が言いました。「一日作さざれば、一日食らわず」（一日不作、一日不食）と。

先日の収穫祭で子どもたちが大きな声で唱和していました。「働かざる者、食うべからず。」この言葉は、畑仕事を休まなかった老僧の一言から生まれた言葉なのです。決して人を責める言葉ではなく、自戒の言葉なのです。

私も、トラクターのカギを隠されたりしないように気をつけようと思います。そんなことしたら、おいしい芋の子汁やさつまいもの蒸しケーキを食べられなくなってしまいますよ。

日	曜	活動内容	保育	預かり	体操教室 長	体操教室 中	体操教室 少	体操教室 満	給食	課外
1	月		一日	○						
2	火		一日	○	○		○		○	○
3	水	おさらい会予行　第一部	一日	○						
4	木		一日	○		○		○	○	△
5	金	おさらい会予行　第二部	一日	○					○	
6	土		休園							
7	日		休園							
8	月		一日	○						
9	火		一日	○	○		○		○	○
10	水	年中組プール 園庭開放『ようちえんであそぼう！』	一日	○						
11	木		一日	○				○	○	△
12	金	行事前半日保育	半日	○						
13	土	おさらい会　第一部・第二部	午前・午後							
14	日		休園							
15	月	振替休園	休園							
16	火	午前　満三歳児参観日 成道会	一日	○	○		○		○	○
17	水	おもちつき	一日	○						
18	木	お誕生会 おやこde Do!（造形）	半日	○						▲
19	金	終業式	半日	○						
20	土		休園							
21	日		休園							
22	月	残務	冬休み	○						
23	火	残務		○						
24	水			○						
25	木			○						
26	金			○						

令和8年1月初めの予定

6	火	前日出勤		○						
7	水	始業式	半日	○						
8	木	お誕生会 おやこde Do！（運動遊び）	半日	○						▲
9	金	年中組お茶のおけいこ 卒園アルバム写真撮影	一日	○					○	

【16日　成道会（じょうどうえ）】

おしゃかさまがお悟りを開かれた日、仏教の誕生日とも言えます。そのお祝いのおまいりをいたします。

長い年月の苦行のために弱った体にパワーを注いだのは、村娘スジャータが施してくれた「乳がゆ」でした。そのおかゆをいただいて元気を取り戻したおしゃかさまは、坐禅をしてお悟りを開かれたといわれています。

この故事にちなんで、成道会のおまいりのあと、子どもたちも「乳がゆ」をいただきます。さて、どんな味がして、子どもたちにはどんなパワーが備わるのでしょうか。

【「いかせいのち」ご報告】

募金合計額１９，２６３円を「日本仏教保育協会」へ全額送金させていただきました。

【おさらい会２部の時間変更のお知らせ】

前月の園だよりでお知らせした、第２部の終了時間が誤っておりましたので、訂正します。13:30～15:30になりますのでよろしくお願いします。

【17日　おもちつきについて】

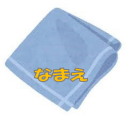
かまどでもち米を蒸かしたり、臼や杵でお餅をついたりして、昔ながらの年末行事を子どもたちに体験させてあげたいと思います。委員のお母さま方にお手伝いいただきながら、新しい年を迎える準備を行います。保育時間に行いますので保護者の方は見学出来ませんが、お土産話をお楽しみにしてください。

〈当日の持ち物〉
○おかずだけ入ったお弁当箱（温めません）
○空っぽのお弁当箱にバンド（おもちを入れて温めますので、アルミや耐熱のもの）
※コップ・お箸かフォーク・ランチョンマットはいつも通りです。記名を忘れずに！

【上着の着用について】

幼児期の子どもたちには、活発に動きやすい環境を作ってあげたいと思います。身動きが取りにくいジャンパーなどの上着は、基本的に園では着用しませんので、園服の下に重ね着をするなどで調節をして登園させてください。（尚、体調不良によるお休み明けや、預かり保育利用の方で、お迎え時、保護者の方が持って来られない場合などはご相談ください。）

【持ち物には記名を！】



衣類、靴はもちろん、ハンカチ、ティッシュなど持ち物の全てに名前をしっかり書いてください。

【降園後の過ごし方について】

日暮れが早くなりました。降園バス降車後や、幼稚園に直接お迎えのお子さんも、バス停やスロープで遊ばずに帰りましょう。お友だちと遊ぶ場合は、基本的に一旦お家に帰って荷物を置いてからが望ましいでしょう。寄り道をせず帰る習慣は、就学を意識した取り組みになります。

今月の保育

単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
音楽・劇発表会	・共通の目標に向かって、自分なりに力を発揮し、皆でやり遂げた満足感を味わう	『さあ！いこう！2026』	おさらい会に向けて言語劇に取り組んでいます。セリフを覚えたり、言い回しのタイミングをはかったりして、色々なことを気づかいながら頑張っています。緊張や恥ずかしさなどから、つまずくことがあるかもしれませんが、友だちからの刺激やお互いの頑張りを認め合いながら励まして行きます。一生懸命に取り組んだことが自信につながって行くように、そっと背中を押してあげましょう。
	・みんなで、年末の行事を楽しみ、一年の終わりを実感する	『おはなしモンスター！！』	
	・伸び伸びと自分の力を発揮し、クラスの友だちと一緒に表現することを楽しむ	『みんなで一緒に なりきっちゃオー！』 ～おさらい会～	おさらい会に向けて活動をしながらも、友だちとの遊びは活発です。活動・生活・遊びなど、何事にも意欲的に取り組む一方で、上手く行かいことや苦手なことには、後ろ向きになることもあるでしょう。失敗をおそれず、「一生懸命って楽しい！」と感じてほしいと思っています。今、頑張っていることを受け止め、前向きなやる気を応援していきましょう。
	・年末の行事に喜んで参加し、新年を迎える準備をする	『おもちつき・おそうじ マッチョパワーで頑張るぞ！』	
	・友だちと一緒に、伸び伸びと表現することを楽しむ	『おさらい会もぴょんぴょんぴょん！ がんばるぞ！』	言葉や行動で自信をもって自分を発揮できるようになりました。友だちとの関わりも活発になるだけ、お互いの主張がぶつかり合います。それも大切な学び体験と捉え、言葉で表現できるように促したり、「相手の気持ち」にも気づけるように援助していきたいと思います。運動会でお家の方に喜んでもらった体験が、おさらい会の活動にも期待を膨らませ、張り切ることでしょう。
	・年末年始の行事に興味を持って参加し、新年を迎える準備をする	『おもちつきに大掃除！ はやくこいこいお正月！』	
	・順番や約束事があることを知り、守ろうとする	『みんなでなかよくできるかな？』	登園すると、タオルを掛けたりカバンをしまったり、生活の流れを掴んで自分で頑張っています。在園生に優しくしてもらい譲ってもらうことも多いですが、おもちゃの貸し借りや順番などが身に着くように時にはガマンの体験もしています。お家でもできたことを褒め、一緒に喜んであげましょう。

収穫祭2025

ぽかぽか陽気の中行われた収穫祭。
今年、里芋は残念賞…でしたが、
大きなさつまいもとキウイがたくさん採れました！

http://www.anagawa-hanazono.com
E-mail:youchien@anagawa-hanazono.com